令和6年度　年間授業計画

教　科：芸術　　科　目：工芸Ⅰ　　単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	工芸Ⅰ（日本文教出版）
	補助教材：	無し

教科（　芸術　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（　工芸Ⅰ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　工芸Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　オリエンテーション	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	2
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	教科書を通じて様々な工芸作品に触れると共に、生活や社会の中の工芸の働きや伝統と文化について理解することができるようにする。	工芸Ⅰについての解説				様々な工芸作品に触れ、生活や社会の中の工芸の働きや伝統と文化を理解できている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	作者の心情や意図、自然との関わり、生活や社会を心豊かにする工芸の見方や感じ方を深めることができるようにする。	教科書				工芸に対する見方や感じ方を深めることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	調べ学習				主体的に鑑賞活動に取り組むことができる。				
	単元　造形基礎	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	石膏の特性および立方体から効率的に形を削り出すための知識、技能を学び、360度どの位置から見ても歪みのない形の流れを意識して作ることが出来るようにする。	石膏による立方体の制作				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	モチーフの形やポージング、構成等を考え、与えられた材料の中で最大限の大きさで作れるよう、制作の構想を練ることが出来るようにする。	ワークシート、作品	○		○	計画的かつ効率的に作業を進めるための発想や構想を練ることができている。		○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	デザイン検討時の検索				主体的に創造活動に取り組むことができている。				
	単元　造形基礎	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	石膏の特性および立方体から効率的に形を削り出すための知識、技能を学び、360度どの位置から見ても歪みのない形の流れを意識して作ることが出来るようにする。	立方体からの削りだし				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	モチーフの形やポージング、構成等を考え、与えられた材料の中で最大限の大きさで作れるよう、制作の構想を練ることが出来るようにする。	ワークシート、作品	○		○	計画的かつ効率的に作業を進めるための発想や構想を練ることができている。	○		○	8
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				
	単元　造形基礎	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	鋳造技法により複製した自分の作品の素材の違いから、それぞれの材料のもつ良さや、特徴を理解する。、	鋳造、講評				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	各作品の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて振り返ることができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート	○		○	計画的かつ効率的に作業を進めるための発想や構想を練ることができている。		○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返り				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　工芸Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 身	領域 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元　焼き物　土と器	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○		○	2
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	年度の特性を理解し、焼き物工芸の伝統的な技法を学ぶと共に、色合いの美しさや機能性を重視した造形することができるようにする。	制作手順、工具の使用方法				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	身近な生活の視点に立ち、用途や美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現の良さを生かした発想や構想ができるようにする。	ワークシート、作品				身近な生活の視点に立った発想や構想ができている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	デザイン検討時の検索				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				
	単元　焼き物　土と器	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。		○	○	14
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	年度の特性を理解し、焼き物工芸の伝統的な技法を学ぶと共に、色合いの美しさや機能性を重視した造形することができるようにする。	成型				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	身近な生活の視点に立ち、用途や美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現の良さを生かした発想や構想ができるようにする。	ワークシート、作品				身近な生活の視点に立った発想や構想ができている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				
	単元　焼き物　土と器	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○		○	10
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	年度の特性を理解し、焼き物工芸の伝統的な技法を学ぶと共に、色合いの美しさや機能性を重視した造形することができるようにする。	加飾、施釉				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	身近な生活の視点に立ち、用途や美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現の良さを生かした発想や構想ができるようにする。	ワークシート、作品				身近な生活の視点に立った発想や構想ができている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				
	単元　焼き物　土と器	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。		○	○	4
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	年度の特性を理解し、焼き物工芸の伝統的な技法を学ぶと共に、色合いの美しさや機能性を重視した造形することができるようにする。	講評				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	身近な生活の視点に立ち、用途や美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現の良さを生かした発想や構想ができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート				身近な生活の視点に立った発想や構想ができている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返り				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　工芸Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 身	領域 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元　編組　空間と光	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○		○	4
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	藤素材の特性を理解し、籐工芸の伝統的な技法を学ぶと共に、空間との関りや機能性を考え、造形することができるようにする。	藤編み技法、工具の使用方法				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	身近な生活の視点に立ち、自然や素材、自己の思いなどから発想や構想ができるようにする。	ワークシート、作品				社会的な視点に立った発想や構想を練ることができている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	デザイン検討時の検索				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				
	単元　編組　空間と光	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○		○	12
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	藤素材の特性を理解し、籐工芸の伝統的な技法を学ぶと共に、空間との関りや機能性を考え、造形することができるようにする。	藤編み技法によるランプシェード制作				発想や構想したことを基に創造的に表すことができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	身近な生活の視点に立ち、自然や素材、自己の思いなどから発想や構想ができるようにする。	ワークシート、作品				社会的な視点に立った発想や構想を練ることができている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができている。				
	単元　1年間のまとめ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	2
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	１年間を振り返り、言葉などで考えを整理し、作品について見方や考え方を深めることができるようにする。	講評				１年間を振り返り、言葉などで考えを整理し、作品について見方や考え方を深められている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	各作品の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて振り返ることができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート				各作品について様々な観点で振り返ることができている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返り				主体的に鑑賞活動に取り組むことができている。				
	単元　0	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	0	0				0				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	0	0				0				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	0	0				0				

合計
70